

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2年 11月 18日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490500406		
法人名	医療法人社団さゆり会		
事業所名	グループホームさゆり		
所在地	広島県呉市音戸町早瀬1丁目36-6 (電話) 0823-56-2360		
自己評価作成日	令和2年10月5日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490500406-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年11月11日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

ご自宅で過ごされていた時と、出来るだけ近い生活感を持って、当施設で過ごして頂けるよう、工夫、努力しています。ちょっと長めの入浴、ちょっと遠出のドライブ、ちょっと豪華な食事。ちょっとした楽しみを、生活の中にたくさん盛り込んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

日頃から医師、看護師が定期的に訪問し、緊急時や終末期には24時間対応できる体制がある。利用者の意欲を尊重し、外出する事や好きな物を食べる事を積極的に取り入れ、牡蠣祭りに参加したり、うどんや台湾料理を食べに行く事も利用者の楽しみとなっている。又、職員と管理者間の風通しは良く、職員が気付いたときに、利用者の生活の質が向上できるような提案が行われ、意見の反映がされている。

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	更衣室に理念を掲げ、常に意識すると共に、個々に半年ごとの目標をたて、意識付けを行っている。	昨年の外部評価以降から、基本理念を礎に理念に通ずる具体的な個人目標を定め、半年毎に目標が達成できているか、基本理念の考え方から逸脱していないか振り返り新たな目標を設定している。職員一人一人が言葉遣いに気を付けて対話をしたり、利用者と向き合って支援を行う事などが利用者の尊厳の確保に繋がっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事などには、参加できるようにし、グループホーム内のはたけも、地域の方が手伝って下さったり、地域の方が踊りを利用者に披露しに来てくださったり、地域の皆さんの一員として認識していただけるよう心がけている。	敷地内の畑には、近隣の方と一緒に冬以外は野菜や果物、花の種を蒔き育てている。自治会長や民生委員が日頃から利用者の様子を気にかけて、頻りに訪問している。地域で開催される夏、冬の祭りに参加したり、日本舞踊やフラダンス、お芝居のボランティアの訪問が定期的にある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	ご利用者、ご家族に対し相談、援助などを行い、見学者に対しても、認知症に付いて説明などを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	事業所の2か月の報告を行い、地域の方にも参加して頂き、意見を伺えるようにしている。	開設当初は家族の参加が多くあったが、最近の参加率が減少している為、施設で主催する夏祭りと同じ日に運営推進会議を開催する事で家族が参加しやすいように工夫している。参加できない関係者、家族には行事やドライブ、普段の様子を撮影した写真入りの報告書を議事録と同封し郵送している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括の方々に、空き状況等の交換を行ったり、電話での情報交換を行っている。	地域包括支援センターと入居相談や空き状況の報告等、随時、双方向に情報交換をしている。市の介護保険課からの指導により指摘があった部分は助言を受けながら改善を行った。介護相談員が収集した情報を基に、利用者の面会や外泊を増やして欲しい意向を家族へ報告し実現に繋がった例がある。	

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束などないように、研修として動画学習などを行うようにしており、玄関の施錠はしておりますが、訴えなど利用者様からありましたら、外出できるように努めております。	毎年1回、定期的に身体拘束に関わる研修を受講し、職員が正しく理解する機会を設けている。外出や行動を制限せず、利用者が外出したい時に職員と一緒に外出し、希望に寄り添い意向を実現する事で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員同士、声掛け、行動について、気付いたときは、話し合いを行い、お互いが注意できるように心がけている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	家庭環境や、経済状況などを把握し、必要な方には、後見人制度を利用している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時に、各種契約事項の説明を行い、ご家族様から、疑問や不安等があれば、その都度、ご説明し理解や納得して頂けるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会やお電話などの時、意見や要望を聞くように心掛け、玄関の方に、意見箱を設け、気軽に意見等をして頂けるように心掛け、意見要望等いただいた際は、職員で話し合い、運営に反映させていただいている。	家族の訪問や電話で連絡をする際に、意見や要望を気軽に伝えられるように、日頃から利用者、家族との良好な関係構築に努めている。家族から、もっと気軽に自宅で過ごせるようにしたいと希望があり、食事のキャンセル費用を無料にした等の改善例がある。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	年に数度のスタッフ会議を行い、職員の意見を聞くように心掛けており、月1回の定例会では、4事業所集い、役職者や代表者も参加し会議を行っている。	調理に必要な天ぷら鍋や、レクリエーションで使用する輪投げ、屋外で訪問理美容を実施する際のテント、手指消毒後の乾燥を防ぐ為のハンドクリーム等、必要な物の購入や提案は職員が気付いたときに、いつでも管理者に伝える事ができ改善を行う事で利用者の生活の質の向上に繋がっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	現場での職員個々の力量や勤務状況を把握し、それに応じた勤務内容や勤務携帯にし、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	年に数回、内部で研修会を開き、職員の質を向上させ、動画学習なども行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人として、資格取得に対する支援を行い、内部研修や外部研修への参加により、職員一人一人の向上を図るよう努めている。同業他社の職員を招いての研修も行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	見学や面談時にお話を伺ったり、入居されてからも職員からご本人様の様子を伺いながら、本人様の声を大切に受け止め、できることは提供していけるようにし、安心して頂けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>面談や見学、契約時、お話しを伺い、ご家族の不安や要望についても、ケアプランに取り入れたり、面会や、電話時などにも、改めて要望を聞いたり、入居後の様子もお伝えするように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご見学に来られた際、ご本人やご家族の意見や本人の状況を確認し、必要なケアを話し合い、随時、実施している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用者と、職員で工作を行ったり、職員が解らない事場度を教えていただいたり、家事などを手伝っていただいたりともに過ごす一員として、関わっていくよう努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族に、生活歴や、楽しみだったことなど、聞きながら、ケアなどに取り入れたり、ご家族参加の行事を行ったりで、家族とご利用者の距離を離さないように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>面会や電話などは、基本的に自由に行っている。地域をドライブなどをし、ご利用者の馴染みの場所を通ったり努めている。</p>	<p>面会は、感染症予防の観点からガラス越しに顔を見ながら電話を使用して話すように工夫している。利用者の多くは地域住民であり、祭りに参加する事で知人や友人に会う事ができる。車で外出した際に生家の近くを通過して思い出話をする等、馴染みの人や場と途切れない支援に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者同士、話が合う方、ご利用者の様子に合わせて、食事席を変えたり、レクリエーションにしても、協力してやれることを提供するように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	移り住む先の関係者に対し、直接、情報を伝えるに行ったり、移り住んだ場所に、訪問したりし、経過を見守っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	介護計画の更新の際、聞き取りでご希望を聞いたり、生活の際の会話から思いを汲み取っている。困難な場合は、関係者で本人の思いを検討している。	入浴時や、軽自動車ドライブに行く際に、利用者と気の合う職員が要望や意欲について個別に聞き取るようにしている。困難な場合は、家族が訪問した際に以前からの好みや嫌な事を聞き取り、実施した時の利用者の表情や反応から、継続又は変更するかを職員、管理者で、検証と検討を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人、ご家族、これまで利用していたサービスそれぞれから情報と、お話を得て、これまでの生活の様子の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一日の様子を記録に残し、その日の過ごし方や、心身状態等、全職員が把握できるように努め、日々の少しの変化も記録にのこすよう心掛けている。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	担当者会議を行い、ご家族、職員、看護師ケアマネ、管理者、ご本人で集まり、ご本人の状態の確認、ケアの再確認を行っている。	毎日実施しているモニタリングを基に、利用者、家族、職員、医師、看護師の意見を取り入れている。文字を書く事が得意な利用者は、毎日掲示する昼食の献立をホワイトボードに記入する事を計画に盛り込み、強みを活かし残存能力の維持に繋げる支援を実践している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の介護計画に沿ったケアができていないかケースに記録し、変化などがあれば記録に詳しく記録し、情報を共有し、状況が変わった時は、介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご利用者の状態に合わせて、業務の流れを変えたり、努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	車にて、近くのスーパーに買い物に行ったり、地域の方にご利用者に踊りを披露していただいたり、支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	毎週1回の内科往診、歯科往診にて対応している。内科外来受診については、かかりつけ医と情報共有している。	入居時に利用者、家族に説明し同意を得て、利用者全員が協力医療機関に主治医を変更しているが、今までのかかりつけ医や専門医の受診も出来る。通院は、家族の付き添いを依頼しているが、対応できない場合は職員が同行し、普段の様子は管理者が取りまとめて医療機関に情報提供を行っている。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>毎日、訪問看護師と職員で情報を共有し、相談も行っている。緊急時には、電話駆けつけ等の24時間対応出来るようになっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した際、日ごろからの状態や状況の経過を含め、情報提供している。入院中は面会で本人のご様子をみたり、電話連絡で、連携室へ経過を確認している。また、事業所の空き情報を日頃から、こまめに連携室に伝えるなど、関係の構築を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時に、書面で重度化についての説明している。終末期には、再度意向の確認を行い、本人、家族の要望に沿った対応ができるよう、医療機関と連携している。状況の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、こまめに家族との連携を取り、方針を共有して支援している。</p>	<p>看取りに関する研修を動画研修で行う他、医師による質疑応答が可能な研修を開催している。これまでに約10名の看取り事例があり、住み慣れた地域で最期まで過ごせる支援を行っている。入居時に書面で説明し同意を得て、看取りの時期には医師から直接家族に詳細な説明が行われている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>動画学習にて、応急手当や初期対応を学習したり、医師による研修を行い、対応の仕方などを学んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回、日中と夜間想定火災避難訓練を行い、地域の消防の方に来ていただいたき、研修している。</p>	<p>年2回の消防訓練の内1回は夜間を想定して行っている。土砂災害や水害時の避難場所と移動方法も定めており、施設から避難場所までの利用者の誘導、移動は近隣住民と自治会長、民生委員と協働して実施する。利用者職員との3日分の水と食料の備蓄があり、防災の日には試食し入れ替えを行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	言葉がけに対しても、丁寧な言葉遣いをするように意識し、居室に入る際や、トイレに入る際もノックをし、確認して入るように意識して行うように努めている。	新入職員は入社時に接遇研修を受け、その後も定期的に研修を実施し、言葉遣いや接遇、プライバシーの保護ができていないか、正しい知識の習得と振り返りの機会を設けている。居室内とトイレは利用者のプライベートな空間であり、職員は必ずノックをしてから入る事を徹底して行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者の希望や思いなどを、ご利用者が決定や思いを出しやいような言葉かけをするように努めている。意思表示が難しいご利用者は、表情や普段の会話から思いを汲みとるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日課など、無理をして頂かないようにし、食事のメニューや、外出先など、ご利用者の希望によって変えたりもしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外出の際は、余所行き服を着てもらったこともあったり、訪問美容の日は、好きな髪型や、髪の色々ご利用者に決めて頂いている。お化粧品もして頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	行事などの時は、季節の食材を使って提供したり、おやつ時は、お菓子作りなどを職員と一緒にしている。	食事前のテーブル拭きや、食後の床掃除は利用者が行っている。食事は配食で加熱済食材が届くが、調味は各ユニット毎に職員が行っており、利用者の好みに合わせた味付けが出来る。炊飯と、出汁をとってからの味噌汁作りは各ユニットのキッチンで毎食準備され、温かい食事が提供されている。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一日の摂取量などを、個人記録に毎日記録し、かかりつけ医と共有し、栄養が不足しているご利用者には、食事とは別に、栄養飲料を摂取して頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	基本的にはご利用者本人にお任せしているが、声掛け等行っている。難しいご利用者には職員が口腔ケアを行っている。口腔ケア時は見守りを行い、声掛けにて磨き直し、義歯の預かり等をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を使用し、ご利用者に応じて、声掛け、トイレ誘導を行ったり、出来る限りトイレでの排泄ができるよう努めている。	個別に排泄表に記録し、排泄パターンを把握してトイレに誘導している。トイレに行く為の歩行、立ち座りの動作、ズボンの上げ下げが継続して出来るよう、日頃から歩行器や手引き歩行で歩いたり、畑の手入れや雑草取りに散歩へ行き、日々の体操以外にも体を動かす機会を増やしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎朝、乳製品を朝食に付けるようにし、自然排便を心がけている。トイレ時に、お腹をさすっていただいたり、歩くことで排便を促している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	大まかな流れはあるが、ご利用者に合わせて、時間や日にちを調整している。入浴が億劫な方は、トイレ後や、お話をしてから、入りたい気分になるよう努めている。	週3回の入浴を実施しているが、毎日入浴したい希望がある利用者は、部分浴や清拭を行うなど可能な限り意向に添えるように努力している。お風呂好きで長湯になる利用者へは、風呂上がりには温かいコーヒーを用意しお誘いするようにして、のぼせずに安全に入浴できるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>眠られる時、起床時は、特に強制せず、ご利用者のペースに合わせて声掛けなどを行っている。日中も、休みたい時に、居室などで休んで頂いている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>お薬ファイルを使っており、いつでも確認できるようにしている。処方変更があった際は、申し送りノートに記入し、職員が周知する様努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>それぞれ、ご利用者に合わせ、塗り絵が好きな方は塗り絵を、継続して行えるようにしたり、役割に関しても、好きなご利用者をお願いしたり、お飲み物に関してもご利用者、個々でお好きな物を、提供している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>外の空気が吸いたいとの希望があれば、外に出て、散歩や少人数で、ドライブや買い物に出られるように努めている。</p>	<p>ドライブや日光浴は、日程を決めずに天気や利用者の気分により、参加者を募って日常的に実施している。敷地内の自動販売機で好みの飲料を購入したり、施設の敷地内にあるベンチでアイス最中を食べながらお茶を飲んだり、車いすを使用している利用者も積極的に外出できるように支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>金銭管理が可能な方は、少額ですがお金を持ち、飲料水等を買ったりして頂き、金銭管理が難しい方は、職員と買い物に行きご利用者の好きな物を購入して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望があれば、時間帯などを考慮し、電話などできるようにしている。手紙に関しても、希望があれば、便箋とふうとうを用意している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	室内の温度設定に考慮したり、つくり花を飾ったり、季節に応じた、壁画を毎月、ご利用者と職員と作成したりし、居心地の良い空間作りに努めている。	共用部に脱臭剤や芳香剤を配置し、施設特有の不快感臭いがしないように配慮している。感染症予防の為の消毒は毎朝、夕実施している。毎月、利用者と職員が協働して季節の壁画を作り、中でも正月に制作した風のイラストに今年の抱負を記入した物を飾った際は、利用者に特に好評であった。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビング内にもソファを置き、一人でご利用者が座ったり、仲の良い方たちと一緒に座ってお話をしたり、テレビを見たり過ごされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	できるだけ馴染みの家具などを使用して頂き、家族との写真や、ご利用者が過ごしやすい空間を作っていくよう、ご利用者に聞きながら空間作りをやったり心掛けている。	利用者、家族に馴染みのある物の持参を依頼しており、仏壇や小さな冷蔵庫、利用者が良く眠れる重さのある布団、長年使用し古く脆くなっているが愛着のある毛布を持ち込み過ごしている。又、居室内はじゅうたんや畳を敷いて靴を脱いで過ごす事も可能である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各ご利用者の居室には、表札を付け、トイレにもわかりやすく表示を付けてたり努めている。		

V アウトカム項目(グループホームさゆり①) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	基本理念「全ての人の尊厳を大切にします。」「全ての人が両親を入所させたい施設を目指します。」のもと、職員全員が目標を立て、半年に一度振り返りを行い、より良い介護を行えるよう努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	初詣やとんど祭り、漁港でのイベント、地域の行事に参加しています。夏祭りを行い、利用者家族、職員家族、近隣の方に参加いただいています。地元のボランティア団体に、年2回慰問にお越しいただいています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議や、地域行事等でお会いした地域の方々から、介護保険の事や認知症の方への対応の仕方などを質問された時は、丁寧に説明しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回開催しています。自治会長、民生委員、包括の職員さんにお越しいただき、さゆりの現状と今後の計画を報告しています。ヒヤリハット・事故報告や身体拘束廃止について検討報告をしています。また、地域の花の開花状況や、イベントなどの情報を頂いています。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	呉市担当職員と、書類の提出時や運営上の相談を適宜行っています。地域包括支援センターとも、運営推進会議へ出席いただき各種報告や相談を受けています。また、呉市介護相談員にお越しいただき、相談ご指導を受けています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	利用契約時に書面にご説明し承諾を得て、緊急時にも書面による説明承諾を行っています。 施設内研修を定期的に行っています。 職員間でも確認しあい、少しでもグレーゾーンのケアをなくすよう努めています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	施設内研修にて、虐待へつながる兆候や、ケース事例から研鑽しています。 運営推進会議や、ご家族の面会等で、外部の方に施設内を見て頂き、職員の対応や言動から兆候がないか、ご覧いただいています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	施設内研修にて研修しています。 入居者に、成年後見制度を利用されている方がいらっしゃるのので、実例を使用して、研修できています。 また、制度を利用している方には、呉市社会福祉協議会の権利擁護センター職員と連携を取り、生活上困りごとが無いようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用契約時に書面にて説明を行い、十分ご理解と納得頂き、署名をいただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を設置しています。窓口担当者を決めていて、数件のご意見を頂いたことがあり、適切に対応しております。 ご意見や、対応した内容、結果を運営推進会議でご報告しています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	各ユニットで、それぞれ適したやり方で、不定期にミーティングを行っています。また、個別での意見や相談も随時受けていますし、経営者や管理者と話し合える場を作っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の家庭環境や体調面に配慮した勤務を組んだり、生き生きとやりがいを持って働けるように、言葉掛けを行っています。資格取得や、勉強会への参加を促していますが、職員からの提案も受け入れています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修会や勉強会、資格講習会などの参加を促しています。費用負担や、参加しやすい勤務を作成しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	呉市主催の集団指導研修、広島県介護福祉士会主催の研修に参加しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居される前に、本人のご自宅へ訪問し面談させていただいています。本人のお話やご様子から、不安なことや困っていることを把握し、入居後の生活の要望をお聞きし、安心して馴染んでいただけるよう対応しています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご本人との面談時には、ご家族の同席もお願いしています。ご家族の不安なことや困っていることを把握し、入居後の生活の要望をお聞きし、安心してお任せいただけるよう対応しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	必要に応じて、他の制度や他の施設の説明や紹介ができる事、主治医や薬剤師、行政と気軽に相談できること、当施設では看取りまで行っていることを随時お伝えしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	お一人お一人のできること、得意なことを見抜き、テーブル拭きや下膳、畑の水やりなどをして頂いています。ご自身の事も、出来る出来ないを見抜き、靴下が自身で履ける人にはご自身で、背中が自身で洗える人はご自身で洗って頂いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	入居前面談の時に、「当施設では、職員だけでケアを行っていくのではなく、ご家族と一緒にケアしていくことを目指している」ことをお伝えし、無理のない範囲でのご協力を得ています。定期的な面会や嗜好品の差し入れ、外出や外泊も協力いただいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族、ご親戚、お孫さん、お友達、近所の方、多くの方にご来所頂いています。法事、墓参り、結婚式、敬老祝賀、外出を応援しています。LINEやSkypeを使用し、ビデオ通話も行えます。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	関係が良好に行くように、座席の配置や、ドライブのメンバー席順等配慮しています。 行事を通して、関係性を築けるよう配慮もしています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後に、ご家族が施設を訪れて、生前の事を思い出されながらお話をされていくことが良くあります。 お元気な方には、終末期のケアについて相談を受けたり、医療についての橋渡しを行っています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	集団生活の中での言葉や、個別でゆっくりお話しする中での言葉を出来るだけ汲みとっている。 ご家族とお話しすることで、新たな生活歴を知ることができ、日々の生活に取り入れることができています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の面談から生活歴の大まかな聞き取りを行っている。入居後も、本人やご家族から色々な話をして聞き取り、本人の生活歴に肉付けし、より良いケアにつなげている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ケース記録やバイタルチェック、個々で記録を振り返りながら、職員間、訪問看護、医師などと相談し、お一人お一人のケースや問題点を把握しています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	職員が普段のかかわりの中で、利用者の思いや願いを聞き取り、医師、看護師の意見も取り入れて、職員間で色々な意見を出し合っています。その人らしく生活できるよう、計画を立て、定期的にモニタリングを行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別に、日々の経過記録を残して、職員間で共有しています。また、ケアプランにも生かしています。連絡ノートを活かし、日々の変化に対応したケアが出来るようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	集団行動を基本とせず、1人1人の希望に添えるよう対応しています。予定通り、時間通りの行動を望まずに、利用者本位のケア、生活リズムを提供しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	訪問美容やボランティア団体による慰問、亀山神社への初詣、花の咲く時期には多くの名所を訪れています。地域の方の支援を受けて、園芸も楽しんでいます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	かかりつけ医の往診が週に1～3回あります。入所前にかかっていた専門医の受診も継続して行っています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>訪問看護師が日に4回来られます。医療処置や相談、リハビリ、健康チェック、かかりつけ医との連携等をしてください。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先の病院の地域連携室と連携し、介護・看護サマリーのやり取りで情報交換共有しています。また、地域連携室とは退院後の生活に意見を頂いたり、空室・入居希望者情報等の連携を取っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時に書面でご家族に説明しています。医師から終末期に入ったと知らせがあった場合、本人・家族の意向を充分にくみ取れる場を設けて、看取りも行っています。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>医師や看護師から研修や指導を受けています。緊急時の連絡体制やマニュアルもあり、事故報告やヒヤリハット等、実際のケースを定期的にマニュアルに取り込んでアップデートしています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署に協力依頼して、消火・通報・避難誘導訓練を行っています。地域や自治会と連携して、津波や水害、土砂災害時にも対応できるよう避難場所の確保も出来ています。防災グッズの整備や、非常食のストックもしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇や言葉遣い、法令遵守、プライバシー保護の研修を行っています。「親しみを込めた言葉遣い」と「慣れから言葉が雑になる」の違いを継続して指導しています。また、職員間でも気軽に注意しあえる関係を作っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	些細なことだと職員が決めてしまわず、あくまでも利用者の意思決定を引き出すよう言葉がけを工夫しています。難しい様子なら、選択肢を減らしたり、アドバイスしたり、選択しやすくしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床臥床時間や食事摂取量、入浴、レクリエーションなど、他者と同じにしながらでも結構です。個々の生活スタイルや、食生活がありますので、出来る限りこれまでやって来られたことと同様に過ごして頂けるよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	2か月に1回、訪問美容に来ていただいています。カット、カラー、パーマ、メイクで楽しんでいただいています。朝の整容、お出かけの整容、季節に合わせた装いをお手伝いしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	配食サービスを利用しています。利用者の嗜好や嚥下機能にあった物を提供しています。旬の野菜や果物を加えて季節感も出しています。月に1度の特別食は日頃と違ったメニューを用意して楽しんでいただいています。外食は、好きなメニューを選んでいただき、談笑されながら召し上がって頂きます。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	専門業者による献立で、栄養価の管理は出来ています。 食事と水分摂取量を記録して、栄養が摂れているか確認しています。 刻みやペースト、とろみ等、食事形態を個々に合わせて提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後に口腔ケアを行っています。ご自分では難しい方には、お手伝いさせていただいています。 週に1度、訪問歯科に来ていただき、口腔ケアを行って頂き、清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄の記録を取り、パターンを知る事、サインを見逃さないようにしています。 出来るだけトイレで排泄できるよう、タイミングを外さないように努めています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	薬だけに頼らないよう、朝食で乳製品を摂れるようにしました。腸が活発に動けるよう、水分補給と無理のない運動を取り入れています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	週に3回の入浴で予定を組んでいますが、その日の気分や体調に十分に配慮して、変更調整しています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	夜間にゆっくりと休めるよう、日 中は活動的に過ごす事をお勧め しています。しかし食後や入浴後、 運動後、年齢や体調、気分等で 少しお休みになりたい方は、夜 間の睡眠に影響がない範囲で、 休まれています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	かかりつけ医、看護師、薬剤師 と連携し、服薬内容の変化や、 症状の変化を記録し、職員間で 情報共有しています。ご自身で 服薬が難しい方は、職員が服 薬介助、飲み込み確認をしてい ます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	入所まで住んでおられた住宅 近くまでドライブで行くと、当 時の思い出を他者に話してくだ さるので、皆さん共感しておら れます。室内ではトランプやカラ オケなどで楽しまれ、昼食のメ ニューを書いてくださる方もい らっしゃいます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。	散歩やひなたぼっこ、ドライブ、 買い物、外食、なじみの地域、 地域行事等で外出しています。 ご家族の協力で、法事や結婚式 、買い物や役所などに外出外泊 できるようにお手伝いしています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	自販機でジュースを買ってお られます。ドライブの際は、お 店でアイスを買ったりしています。 通院の際も、自身で財布をお持 ちの方は、支払いをされています。		

自己評価	外部評価	項 目(グループホームさゆり②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	個人で携帯電話をお持ちの方は、いつでも家族知人に連絡を取っておられます。お持ちでない方には、施設の電話で連絡を取られたり、lineやSkypeでビデオ通話されています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用部は、見た目と、香りと、消毒に気を付けています。季節感のある飾りつけで楽しんでいただき、換気で外気を取り入れ潮風を感じることができます。手で触れる場所の定時消毒で感染予防にも努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食事席は、入居者間の関係性を考慮して配置しています。ワイワイにぎやかにスガされたい方はテーブル席で過ごされ、少しゆっくりされたい方は、ソファで過ごされたり、うたたねされたりしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	過ごしやすさや、思い出などから、長年ご自宅で使用されていたダンスや椅子、服や鏡、布団や枕を持ってきていただいています。できるだけ使い慣れた物に囲まれて、お部屋に居れば、安心できる環境を整えています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	できる事は、やっていただく。できることを職員が取り上げてしまわない。でも、気分や、体調がのらない時は、職員がお手伝いしています。		

V アウトカム項目(グループホームさゆり②) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームさゆり

作成日 令和2年12月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	消防訓練を行った後の、反省点や報告などをしていなかった。	訓練後の反省点をまとめる。	報告書にまとめ、災害が発生した際に、活かせるようにする。また、土砂災害対策も行う。	6ヶ月以内
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。